

やる気と感動

学校だより 9号

平成28年

8月26日(金)

＝ 学び 遊び 挑戦し そして感動 35日間の夏休み終了 ＝

～始業式の校長あいさつより～

35日間の夏休みも終わってみるとあっという間でした。二年生で1名転校した生徒がいましたが、本日2名の転入生を迎え、全校生徒198名で二学期の始業式を迎えられることをとてもうれしく思います。また、二学期を気持ちよく迎えるために一年生と一年生の保護者、PTA環境整備部・本部の皆さん、先生方が一緒になり、2時間近く一生懸命作業をし、草取りや窓ガラス磨き、石畳清掃など普段できないところや危険なところをまできれいにさせていただきました。ありがとうございました。

夏休み前半は県総合体育大会や、県吹奏楽コンクールが実施され、各会場で熱い闘いや心に響く演奏が繰り広げられました。その中で女子バレーボール部、陸上競技で2名、水泳で1名が関東大会出場を決め関東の舞台で精一杯闘ってきました。また陸上の2名は全国大会にも出場し、競技選手としての経験値を高め、今後の活躍が更に期待されます。

この夏で引退となる三年生は、今までお世話になった指導者、保護者、地域の方々への感謝の気持ちと、後輩に自分たちの思いをしっかりと伝えて繋いでいってください。一二年生はその思いをしっかりと受け止め、新チームづくりを進めてください。

今年の夏はリオでオリンピックがあり、様々な競技から多くの感動をもらいました。初めてオリンピックでのメダルを手にした競技(カヌー、男子卓球、陸上競歩、女子バドミントン個人)、久しぶりにメダルを手にした競技(男子テニス、シンクロナイズドスイミング)、メダルにあと一步と迫った競技(体操女子団体、トランポリン、7人制ラグビー、女子ゴルフ、女子卓球個人など)、激しい戦いの末奇跡の逆転勝利をつかんだ選手(体操個人内村選手、レスリング女子個人の3名・・・特に伊調選手は4連覇、ウェイトリフティング三宅選手、50キロ競歩の荒井選手・・・一度は失格処分)、苦しい状況を乗り越えて復活金メダル(水泳女子・・・金藤選手、柔道女子・・・田知元選手)決勝進出者が誰もいないチームで、アメリカを抑えて銀メダルを獲得した男子リレー。このように本当に多くの感動をもらいました。

解説者が『世界一の練習を積み重ねてきた。』とか『金メダルを取るためだけに4年間を費やしてきた。』

『後半逆転できるだけの練習をしてきた。』という台詞を何度も口にしていました。

シンクロの日本チームは復活した鬼コーチのもと、一日12時間の練習に耐えてきたそうです。努力が全て結果に結びつくわけではありませんが、自分にできる最大限の努力をしてきた人のみが参加できる大会であることは、間違いないでしょう。

今日から始まった二学期の中で、『チーム南部中』として、またそのメンバーの一人として、やるべき努力、できる努力を精一杯やりましょう。皆さんに目指してもらいたい、達成してもらいたい姿は、①課題や提出物を期限内にやりきれぬ集団・自分、②苦しくても逃げずにがんばれる集団・自分、③結果の原因を他人に求めず自らをしっかりと見つめられる集団・自分、④人を思いやりいじめ0を達成できる集団、⑤学習に真剣に向かい合い学力を伸ばし合える集団・自分を目指しましょう。

生徒会最大行事の輝城祭まであと15日。全員が燃えるような『やる気』をもって『感動』の輝城祭を作りましょう。長い二学期そして新人戦、教達検、音楽発表会など多くの行事がある二学期だからこそ、成長できる最大のチャンスです。南部中の生徒一人ひとりの力と南部中学校の力を最大値まで高めていきましょう。